

第 38 回 法人会全国青年の集い(福井大会)の報告

開催：令和 6 年 11 月 7 日・8 日

場所：フェニックス・プラザ、サンドーム福井

報告：青年部会長 真鍋浩章

『福の國より未来を研げ！』

～志を立て、新時代の扉を開こう～

福井県は、長年幸福満足度の高い「福の國」と言われ、伝統工芸や産業など「ものづくり」の県というイメージでした。幕末の志士、橋本佐内の人生訓「啓発録」にある“志を立つ”という言葉にちなんで、本大会に全国から集まる青年部会員が英知と技術を合わせて切磋琢磨し、未来のこどもたちへのメッセージをイメージした大会でした。

7日、租税教育活動プレゼンテーションでは、各局連からの代表者が日ごろの租税教育活動について発表されました。最優秀賞を獲得した 東京局連立川法人会の「シン・立川モデル」の発表の中で、講師やアシスタントのスキルアップによる継続性が重要だと言っていました。池田法人会でも講師の人数を増やすことが課題であり、個人のスキルだけではできないと感じているところで、立川法人会では、講師の養成に力を入れており、「講師手引書」の作成や養成講座を受講した部会員に税務署長から「受講証」が交付されたり、スキルに合わせてマイスターバッヂが貰える制度があったりと講師養成制度のおかげで講師のやる気が出ると感じました。

一方の「健康経営大賞」では、東京局連の世田谷法人会青年部会と石川局連代表の(株)金沢シール様が受賞されました。

8日、部会長サミットと並行して開催された「分科会」では、「租税教育活動」「健康経営プロジェクト」とともに全法連 杉本副会長・野路副会長の講演で、法人会とは？租税教育活動の意義とは？健康経営の取り組み方等を詳しく教えていただきました。

午後からは、「足し算で生きる～がんステージ4からの生還～」と題して笠井信輔氏による講演。大会式典では、各種表彰と次回開催の山梨県連青年部会の皆さんのPR、懇親会と二日間充実した研修を体験できました。徳島県連では、令和9年度全国青年の集い開催に向けて準備を進めているところで大変参考になりました。運営・準備等、福井県連の皆様には大変お世話になりありがとうございました。

～ 大 会 宣 言 ～

「志を立てる」

幕末の混迷期において福井から輩出した偉人・橋本佐内の書いた啓発録の中の五訓のひとつです。日本を思い、日本を変えたいと思う橋本佐内は激動の時代の中、異例の若さで藩校の校長に任命され、藩主側近として国難に立ち向かいながらも安政の大獄の渦中、未来を憂いながらもわずか26歳という若さで志なかばで命を落としました。

「福の國から未来を研げ～志を立て、新時代の扉を開こう～」

福の神が宿るとされるここ福井での第38回全国青年の集い福井大会を通じ、参加いただいた青年部会員の皆様には小さいことでも構いません。何かひとつでも志を立て次代の担い手として気を振りより力強く一体感を持ち、地域や国の発展を担う子供たちのために全国各地で運動を展開することをここに誓い、大会宣言とします。